



クラブテーマ

ロータリアンとしての意識向上と奉仕の原点回帰  
年度創立25周年を迎える体制づくり

例会報告 1005  
(2015. 9. 28)

司会：瀬野ちどり SAA委員



【開会点鐘】

小林 康久 会長

【ロータリーソング】

『東京武蔵国分寺』

ソングリーダー：浅川 直行 会員



【お客様紹介】

小林 康久 会長

- 波多野容子 様 (米山記念奨学副委員長／卓話講師)
- 遠藤 泰夫 様 (米山推進委員)
- 飯沼 克美 様 (東京国分寺RC 会長)
- 濱仲 幸弘 様 (東京国分寺RC)
- 小椋 克廣 様 (東京国分寺RC)
- 佐藤 和夫 様 (東京国分寺RC)
- 岡田 秀久 様 (東京国分寺RC)
- 野沢 薫 様 (東京武蔵府中RC)

【ご挨拶】

東京国分寺ロータリークラブ創立50周年記念  
チャリティゴルフコンペのご案内



【会長の時間】

時間の関係で今回は省かせて頂きます。

【幹事報告】

高良 茂 幹事



- 9月14日(月) 第4回 プログラム委員会炉辺会議
- 9月15日(火) 2016-17年度 第2回ガハナー補佐研修会
- 9月15日(火) 第6回 多摩中G協議会
- 9月16日(水) 国分寺まつり出店者会議
- 9月17日(木) 会員増強セミナー
- 9月23日(水) 第22回 少年野球 大運動会

【委員会報告】

◆出席委員会／出席報告

浅川 直行 出席委員



会員数	43名	免除	3名	有効会員数	40名
出席者	25名				
メイクアップ済	1名				
計	26名	出席率	60%		

前々回78%を79%に訂正

◆親睦活動委員会

佐藤 喜義 親睦活動委員長

親睦旅行の集金を始めております。  
宜しくお願いします。



◆会員維持・増強委員会

瀬野ちどり 増強委員長

地区の会員増強セミナーに参加して  
きました。入会見込者を紹介いた  
だく予定です。ご検討をお願いします。



【ニコニコボックス】

伊東 勝己 親睦活動委員

東京国分寺RC

飯沼様・濱仲様・佐藤様・岡田様・小椋様

小林会長、高良幹事におかれましては、いつも大  
変お世話になっております。本日は11月11日の50  
周年チャリティゴルフのPRにお伺い参りまし  
た。ぜひ一組でも多くのご参加を宜しくお願い致  
します。

小林 康久 会長・高良 茂 幹事

本日、波多野様卓話よろしくお願ひ致します。

鈴木 義明 会員

波多野容子 米山記念奨学副委員長、遠藤泰夫 米  
山推進委員、本日はお忙しい中当クラブへお越し  
頂きありがとうございます。



※ ニコニコ大賞：野沢 薫 様 (東京武蔵府中RC)

本日、私初めての  
メイキャップに伺  
わせていただきま  
した。波多野容子  
さんの卓話を楽し  
みにまいりました。



## 【卓話】

講師紹介：

鈴木 義明 プログラム委員長



講師：波多野容子 様

(米山記念奨学副委員長)



米山記念奨学事業「豆辞典」(2015-16版)も参照しながら、米山記念奨学事業の由来、事業内容、奨学生選考方法についての説明だけでなく、多くの奨学生が感謝の気持ちをもって活躍し、平和日本への理解を世界へ広めていることなどについてお話しいただきました。

・謝辞

小林 康久 会長



## 【閉会点鐘】

小林 康久 会長



## ロータリー米山記念奨学会

## 米山記念奨学会のあゆみ

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年、東京ロータリークラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する事業「米山募金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという、当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。この事業は、わずか5年の間に日本全国のロータリークラブの共同事業へと発展し、1967年には、文部省(当時)を主務官庁とする「(財)ロータリー米山記念奨学会」が設立される運びとなりました。現在、50年以上の歴史を持ち、RIから認証を受けた日本のロータリー独自の多地区合同奉仕活動(手続要覧33および93頁)です。現在も、「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」という思いを込めて運営されています(ロータリー米山記念奨学会史より)。

## 日本最大の民間奨学事業

ロータリー米山記念奨学会は、全国のロータリアンの寄付金を財源に日本の大学、大学院をはじめとする高等教育機関で学ぶ外国人留学生に対して奨学金を支給しています。年間の奨学生採用数はおよそ800人、事業費は14.4億円(2008年度決算)と、国内では、民間最大の奨学事業となっています。これまでに支援してきた奨学生数は累計で、15,130人(2009年4月現在)、その出身国は、世界116の国と地域に及びます。

## 寄付金の使途・財政の推移

ロータリー米山記念奨学事業の財源は、ロータリアンからの寄付のみで支えられています。そしていただいた寄付はすべて奨学生の為に使われています。2007-08年度は14億5200万円、2008-09年度は14億9000万円でした。1957年に全国組織となってから累計で、447億円の寄付がありました。米山記念奨学会では、財政の健全性、透明性の確保に努めており、事務費や補助費の見通しをしながら寄付金収入に見合った支援を行っています。

## 東京武蔵国分寺ロータリークラブ

会長：小林 康久 幹事：高良 茂

クラブ広報・会報委員会 委員長：村谷 晃司 副委員長：佐藤 喜義 委員：尾崎 幸信 櫻井 健生 鈴木 孝和

例会場 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル8F Lサロン飛鳥

事務局 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル9F

Tel 042-323-3443 Fax 042-323-3459